

明後日朝顔プロジェクトについて

明後日朝顔プロジェクトとは

アーティスト・日比野克彦が新潟県 十日町市筋平（あざみひら）の集落の住民たちとの交流を目的として、2003年から始めたのが「明後日朝顔プロジェクト」です。筋平では秋に収穫した種を翌年に撒くを繰り返してきています。朝顔の育成に合わせ、春夏秋冬の季節に人が反応して、様々な交流が生まれます。種は「地域と人のつなげる」共生の種として全国各地に展開しています。2005年には水戸、2006年太宰府、2007年金沢、そして姫路では2015年に始まりました。朝顔の種が人と人、人と地域、地域と地域をも繋げる大きなネットワークとなっています。2021年11月6日・7日には「全国明後日朝顔全国会議」が姫路で開催されました。



明後日朝顔のはじまり

2003年第2回大地の芸術祭越後妻有トリエンナーレにおいて、日比野克彦は、廃校になった筋平小学校 校舎を拠点に、あしたのその次を思い描く「明後日朝顔新聞社文化事業部」を立ち上げました。地域の人たちと初めて会った時に「新聞の取材する形で集落のみなさんの話をしていきたいと思います、コミュニケーションがアートにとっては大切です」などと話しましたが、集まってくれた人の反応は、自分ごとではなく、「どうぞ」という感じでした。そんな中で集落のおばあちゃんから「私たちは土をいじるのが得意だから、一緒に花を育てよう」と声が上がリ、地域の人たちが自分ごととして行う文化事業として明後日朝顔が始まりました。

